

[発行] 社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会
〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301 原ターミナルビル3階
TEL809-5550 FAX809-5551
E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp



視覚障がいその他の理由で活字のままでは読むことが困難な人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。

クローズアップ!

天白区を良くするしくみ

10月1日
から
12月31日

赤い羽根共同募金

10月1日から赤い羽根共同募金が全国一斉に始まります。



毎年、地域、職場、学校、企業をはじめ、多くの皆さまにご協力いただきありがとうございます。

皆さまからお寄せいただいた募金の約6割が天白区のまちを良くする活動に、約4割が愛知県の広域の社会福祉施設の整備や団体の事業等に役立てられます。より良い地域づくりのために、**今年も皆さまのあたたかいご協力をよろしく願いいたします。**



昨年度の街頭募金・イベント募金の様子

赤い羽根は、「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」のシンボルだよ!



共同募金キャラクター 愛ちゃんと希望くん

令和4年度

赤い羽根共同募金実績額

8,184,647円

歳末たすけあい募金実績額

482,036円

共同募金の詳しい使い道については、インターネットまたは二次元コードで見ることができます。
赤い羽根データベース「はねっと」
<https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>

問合先

名古屋市天白区共同募金委員会
(名古屋市天白区社会福祉協議会内)

TEL:809-5550 FAX:809-5551



手づくり作品で地域貢献

個人や地域で活躍するグループなど、皆さまの特技や趣味を活かした地域貢献活動を紹介します。

その①

赤い羽根共同募金のグッズの作成



編み物が得意な方に「赤い羽根」を編んでいただき、イベントなどで赤い羽根共同募金にご協力いただいた方にプレゼントしました。

昨年に続き、今年も準備を進めています~♪

◆赤い羽根の編み物のご協力/高齢者はつつつ長寿推進事業



裏にはブローチピンが付いています♡



個包装して寄付者にプレゼント★



天白区社協キャラクター てんてん

その②

着せ替え人形用の洋服づくり

人形を寄付でいただいたことから、手芸が得意な方に、着せ替えの洋服を作成してもらいました。採寸や型紙をとる等本格的な作業で素敵な洋服がたくさんできました。

子どもたちに使っていただけるよう施設やサロンなどへの寄付先を見つけていきたいと思っております♪



◆人形のご寄付/平針南学区地域福祉推進協議会

◆着せ替えの洋服作成のご協力/高坂学区高齢者サロン「袖の会」、高齢者はつつつ長寿推進事業





No.63 ぽわわな 介護日記 認知症の人の世界を知る(その60) 「父と娘の『今昔物語』」 ～いくつになってもかわいい愛娘～

Yさん(86歳男性)は、最近、昔話が増えてきた認知症の方です。奥様に先立たれてからひとり暮らしのため、近所の娘とヘルパーが支援していました。

ある日、娘から「最近、父が不機嫌で私に『帰れ!』と言うんです。」と相談がありました。ヘルパーがそれとなくYさんに確認すると「娘はあんな風じゃない!」「私の娘じゃないかもしれん!」とまさかのご発言。Yさんは、娘の訪問のたびにお菓子や花を手渡すなど娘思いの方でした。今回なぜかYさんは、娘の様子を「素っ気ない」と感じていました。話を聞き進めると、ヘルパーは、Yさんの話の内容が娘の幼少時代の話であることに気がきました。

最近のYさんは、子どもの頃の陽気で活発だった娘の記憶が突然蘇り、お菓子をあげると大喜びする娘の反応を期待していました。ところが実際は、60代の娘が大人な反応で期待外れだったため、Yさんが違和感を抱き、不信に思ったことが今回の不機嫌の原因でした。

ヘルパーから話を聞いた娘は「確かに子どもにしては大人し過ぎたかも」と考え、次回からは幼い頃の自分を演じ、喜びを大きく表現することにしました。また、娘は、訪問ごとに当時(50数年前)の思い出をYさんと話して記憶を刺激するようにしました。

認知症の方に合わせて介護者が役割を演じることは、不穏状態の解決策のひとつです。今回は、娘が子どもを演じることで、Yさんに見えている世界を父娘で共有できたため、Yさんは安心感を得て不穏が減っていききました。これで「めでたしめでたし」とはいかず、成功した解決策が毎回通用しないのが、認知症の方の介護の奥深いところ。娘は「演技の幅が広がっています!」と笑って話していました。

その後のYさん。演じた娘に「はしやぎ過ぎだ!」と注意する日もありますが「娘がかわいい!」と嬉しそうに話す日が増えていきました。(モカ)



ぽわわな 子育て日記 No.72 「わが子の特技」 広汎性発達障害を抱える息子と母の日々の暮らし

広汎性発達障害のB君は、キレイに並んでいるものが好きです。

幼い頃は人形を真っ直ぐ一列に並べたり、電車や車のおもちゃを整列させて遊ぶことがよくありました。

規則性のある並びが好きなのか、カレンダーや表になっているフロアガイドなども見ている落ち着くようです。

何をやっても泣き止まない時、カレンダーを見せると治まることもありました。

B君の「表好き」は10歳になった今も続いており、よくリビングのカレンダーを眺めています。

いつの間にかカレンダーに書き込んだ予定を全て覚えていて、私が追記や予定変更などで書き換えるとすぐに指摘してくるようになりました。

外出先で私が来月の予定を確認したい時に「〇月〇日は△時から予定があるよ。」などと教えてくれることもあり、とても頼りになります。

記憶力がいいんだなあ、と、B君の特技を見つけられて嬉しく思っていました。

ところが、B君は覚えた我が家のスケジュールを学校の先生に全て話していることが判明しました!

「お父さんは〇日に病院へ行く、お母さんは〇日に美容室を予約している、〇日は外食をする…」などなど、B君は何でもかんでも喋ってしまうという無邪気さも兼ね備えておりました。

「お家の予定は他の人に言わないでね。」と伝えると「うん、分かった。」という素直さも発揮してくれ、これ以降、我が家のスケジュール漏洩は回避されているものと思われ(笑)

記憶力の良さを活かして、私との約束もしっかり覚えておいてほしいです。

(ナッチ)



第37回天白区福社区民のつどい 「まつり天白2023」と同時開催!

日時 令和5年10月22日(日) 10:00～15:00 小雨決行

場所 天白公園内南西側小公園
「福祉広場」

- 福祉体験・ゲーム
- 製品販売・飲食模擬店
- 共同募金 など

場所 天白生涯学習センター
「ふれあい広場」

- 工作 ●ゲーム など
- 授乳・おむつ替えコーナーもあり

※やむを得ず、内容等を変更させていただくことがあります。
※駐車場がありませんので、無料シャトルバスや公共交通機関でご来場ください。
※「天白区福社区民のつどい」は、ふれ愛ネット天白と天白区社会福祉協議会の共同事業として、区内の福祉関係団体等で実行委員会を組織し、福祉のまちづくりをめざし、開催するイベントです。

4年ぶりの開催です。開催にあたり赤い羽根共同募金配分金も活用させていただきます。ありがとうございます。



問合先

「ふれ愛ネット天白」事務局
(天白区社会福祉協議会内)
TEL:809-5550 FAX:809-5551

<https://www.facebook.com/fureainettenpakufukushikuminnotsudo>
スマートフォンなどをお使いの方は、こちらの二次元コードからFacebookページにアクセスしていただけます。

学習会を開催しました。

「発災後の施設の動き」について、講師に認定特定非営利活動法人レスキューストックヤードの浦野氏にお越しいただき、お話を伺いました。

日本は自然災害がとて多い国。地震や豪雨等の災害にどう備えるべきか、過去に被災した福祉施設の事例から学ぶということで、2016年に発生した熊本地震の実体験からお話を伺いました。日頃から枕元に置いておく物の中に、懐中電灯、笛、底の厚いスリッパ(履物)を入れておくことが必須だそうです。特に笛は発災時、周りが騒がしく助けを呼ぶ声が届かない時に、笛の音で気づいてもらえるとのことでした。

次に、2000年の東海豪雨災害のお話を伺い、日頃からハザードマップで、施設の場所の危険度をチェックすることや、避難指示情報を把握し、速やかに避難できるように準備することの大切さを学びました。

施設を避難所として開放するにあたり、職員も被災します。その中で、ボランティアの方々のご協力、地域の方々との連携がとても大切だとわかり、「もしもの時は避難誘導と見守りのご協力を地域の方々からお願いできたら」というお話がありました。

この学習会で、日頃の備えはもちろろん、命を守るためそれぞれが協力し助け合うことが、いかに重要であるかを学びました。

会員募集中!

ふれ愛ネット天白とは

天白区内の障がい児者・子ども・高齢者に関わるボランティア・団体・施設等が所属するゆるやかなネットワークです。

第75回 赤い羽根協賛児童生徒作品展のご案内

天白区内の小・中学校の児童・生徒の皆さまよりご応募いただいた書道とポスター作品の中から、それぞれ入賞した作品の展示をいたします。ぜひ、ご来場ください。

期間 10月21日(土)～10月29日(日)

場所 天白図書館入口展示スペース

天白図書館開館時間

- 火～土曜日(祝日を除く) 9:30～19:00
- 日曜日・祝日 9:30～17:00



「住みつけたいまち天白」のために 賛助会員募集中!!

賛助会員は、天白区社会福祉協議会の活動にご賛同いただきました方々に会費を納めていただくことで、活動財源のご支援をお願いする制度です。

ご協力いただきました賛助会費は、小学校等で実施する福祉体験学習に関わる活動や、学区地域福祉推進協議会の活動支援などに活用させていただきます。

申込方法は、本紙一面上部に記載の天白区社会福祉協議会までお問合せいただくか、ホームページの「募金・寄付」-「賛助会員募集」画面にて確認していただくことも可能です。皆さまのあたたかいご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

個人会員 1口/1,000円(年額) 法人・団体会員 1口/5,000円(年額)

※個人、法人とも税制上の優遇措置があります。※令和4年度は、個人会員(464件/522口)、法人・団体会員(28件/38口)の皆さまから、合計712,000円のご支援をいただいております。誠にありがとうございます。

この指とまれ! 情報コーナー

視覚障がい者ガイドボランティア養成講座(全3回)

視覚障がい者の外出支援や学校などでの福祉体験学習で活動していただくボランティアの養成講座です。

- 日 時: 11月1日、8日、15日(各水曜日) 10:00～12:00
- 場 所: 天白区在宅サービスセンターボランティア室(原1-301 原ターミナルビル3階)
- 費 用: 500円(資料・保険料含む)

※別途、実習時の地下鉄乗車料金は自己負担

- 内 容: 講話、屋内および屋外でのガイド実習
- 実 施: ガイドボランティアグループ「天白わかば」
- 持ち物: 筆記用具(動きやすい服装と履物で)
- 申 込: 10月25日(水)までに電話、FAX(住所・氏名・電話番号・「ガイドボラ講座参加希望」を明記)または窓口で受付

定員 先着15人



次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。(令和5年2月16日から令和5年7月31日受付分 受付順)

- 上田 陽子 様 ●天白でいぱり 様 ●鈴木 弘子 様 ●川口 明子 様
- 名古屋ヤクルト販売株式会社 様 ●西尾 克己 様
- ピアゴ植田店 様 ●ピアゴ平針店 様 ●匿名 3件 合計 11件

